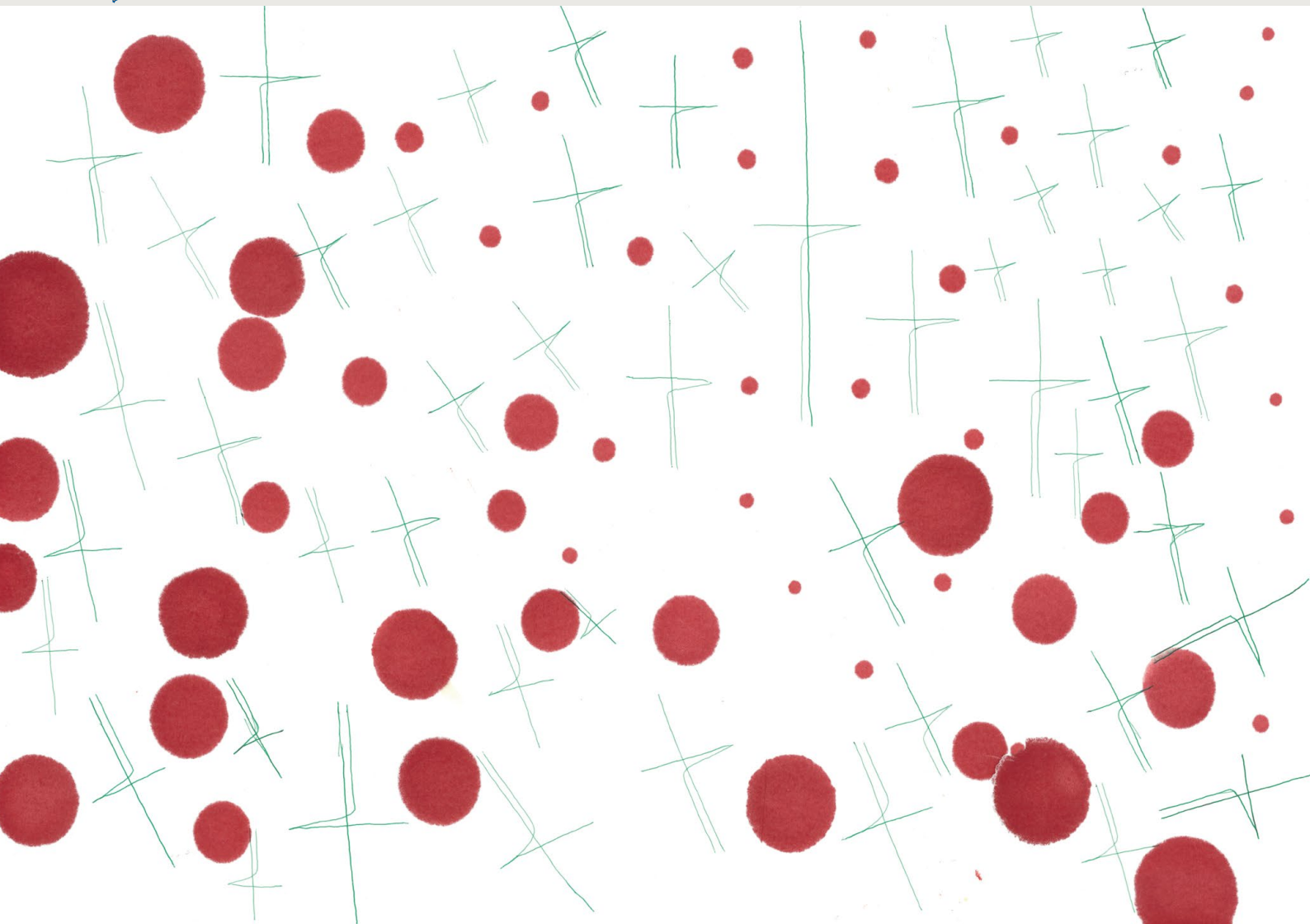
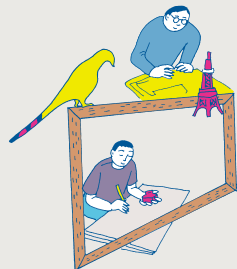


日本博を契機とした

障害者の文化芸術フェスティバル

in 近畿ブロック & グランドフィナーレ

NO-MA
Borderless Art Museum NO-MA



アール・ブリュット -日本人と自然- BEYOND

2022.2.11(金・祝) - 3.21(月・祝) 11:00-17:00 月曜休催(3.21除く)

出展者 浅野春香 / 穴瀬生司 / 今村花子 / 大井康弘 / 葛西孝之 / 小林靖宏 / ごまのはえ + 芝田貴子 / 坂本三次郎 + 権原保 / 杉浦篤 / 鈴村恵太 / 高橋舞 / 高丸誠 / 田中乃理子 / 鶴川弘二 / 中武卓 / 中山正仁 / 西澤彰 / ノナカミホ / 廣川照章 / 藤田雄 / 曲梶智恵美 / 升山和明 / 水沼久直 / 宮井英寿 / 森川里緒奈 / 森脇高弘

企画協力 広瀬浩二郎 (国立民族学博物館グローバル現象研究部 准教授)

会場 **・ボーダレス・アートミュージアムNO-MA** 滋賀県近江八幡市永原町上16 [旧野間邸]
・旧増田邸 滋賀県近江八幡市仲屋町中4 **・まちや倶楽部** 滋賀県近江八幡市仲屋町中21

観覧料 共通券500円(450円)、高大生450円(400円)、一館チケット200円 ※障害のある方と付添者1名、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルに向けた全国会議、日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル近畿ブロック実行委員会
共催 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

後援 滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力 あいち清光会 サンフレンド、青葉仁会、アートステーションどんこや、有田ひまわり福祉会、あーど、YELLOW、近江八幡観光物産協会、クリエイティブサポートレッツ、クリーニングの相互 仲屋営業所、グループホームわくわく、国際芸術祭BIWAKOピエンナーレ実行委員会、しあわせ作業所、信楽青年寮、しみんふくし滋賀、障害者支援施設 愛隣館、静内ベテカリ生活支援センター ガーデン、すたじおぼっち、創作ヴィレッジこるり村、みぬま福祉会 工房集、もうひとつの美術館、もみの木福祉会、当麻かたるべの森、やまなみ工房、薬工ミュージアム



Art Brut CREATION Nippon in SHIGA & GRAND FINALE

2020年2月、滋賀県において、「アール・ブリュット-日本人と自然-」展が開催されました。それから2021年12月まで、この展覧会は全国7地域を巡回し、各地に独創的な表現を届けてきました。2年の旅路の中で様々な出会いを果たし、アップデートした同展ですが、2022年2月、はじまりの場所にして最終目的地でもある滋賀県に、「Beyond」という言葉を加えて、戻ってきます。旅路の中で出会った各地域の20名のアーティストを紹介する「Traveling—巡り合いの中から」、これから先=Beyondを見据える創造の形を浮かび上がらせる6組の表現で構成する「共同創造—新しいクリエイションのかたち」、この2つのセクションで、150点に及ぶ作品を展示します。



《清水屋とタクシーたち》2017年 / 升山和明



無題 1992年 - / 杉浦篤

障害者の文化芸術フェスティバルとは

「日本人と自然」をテーマに、障害者の視点を通じて国内外に発信する文化芸術フェスティバルです。アール・ブリュット展、舞台芸術公演、バリアフリー映画の上映、バリアフリー演劇の上演、農×福×食のイベントなどを実施します。



目には見えない感覚を“さわる”

— 広瀬浩二郎さんと共に創造する美術鑑賞のBeyond

国立民族学博物館に勤務するキュレーター・研究者の広瀬さんは、見ることを前提とせず、主に触感を通して楽しむ展覧会や作品鑑賞会を企画し、「さわる文化」の発信に取り組んでいます。本展では、広瀬さんと共同し、「見る」以外の方法から作品を楽しむ鑑賞体験を創造するコーナーを設けます。

関連イベント

「広瀬浩二郎さんとさわる! つくる!」

共同創造した鑑賞体験のコーナーを、広瀬さんとともに体験したり、関連する創作体験を行うイベントです。

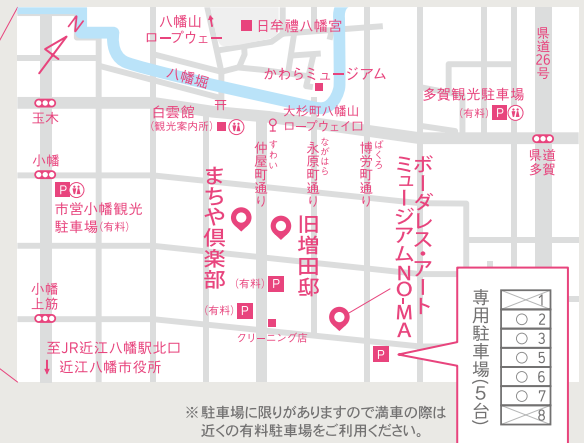
日時 2月23日(水・祝) 14:00~15:30

定員 10名(要予約)

集合 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



SHIGA



※ 駐車場に限りがありますので満車の際は
近くの有料駐車場をご利用ください。



《コオラル2》
2021年 / 浅野春香



《坂本三次郎になりきって空間を作る》
2020年 / 椎原保



《ガネーシャ》
2013年 / 大井康弘

誰もが参加できるために

(フェスティバルにおける合理的配慮の取り組み)

- 筆談対応 ○ 音声ガイド・点字による作者紹介
- 英語表記 ○ 触って楽しむ作品を展示
- 受付ではどなたにもウェルカムな対応で、鑑賞をサポートします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場される方は以下の対策をお願いいたします。

1. 体調不良(発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)の方はご来場をご遠慮いただけます。
2. マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
3. 観覧中は、他の人と接触しない程度の間隔を確保してください。(障害のある方等の誘導、介助を行う場合は除きます)
4. 展覧会会場の来場者が多い場合は、入場を制限させていただくことがあります。
5. 大きな声での会話、歓声はご遠慮いただけます。

主催者として、以下の新型コロナウイルス対策を徹底します。

- スタッフの体調確認を行います。
- スタッフはマスク着用の上で案内いたします。また、こまめな手洗いを行います。
- 会場内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化します。
- 会場内は密閉した空間にならないよう、定期的に換気を行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、内容を変更する場合や中止する場合がございます。予めご了承ください。

日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル 近畿ブロック実行委員会

一般社団法人ジェネシスオブエンターテインメント、近畿地区身体障害者施設協議会、特定非営利活動法人DPI日本会議、湖南ダンスワークショップ実行委員会、滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課、滋賀県健康医療福祉部障害福祉課、一般社団法人滋賀県ろうあ協会、一般財団法人全日本ろうあ連盟、一般社団法人障害者の食と文化活動推進研究会、公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会、社会福祉法人グロー(GLOW)

お問い合わせ・予約 日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル 近畿ブロック実行委員会事務局(社会福祉法人グロー)
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2 TEL:0748-46-8100 FAX:0748-46-8228 Mail:creationnippon@gmail.com

表面：無題 2011年頃 / 鶴川弘二



令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト